

授業科目	学習・認知心理学Ⅱ（思考・言語）				
担当者	武藤 拓之				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

言語聴覚士に必要とされる学習・認知心理学の諸分野について解説する。後期は「思考・知識」「言語」に関する内容を扱う。特に、本講義では心理学と日常生活との関連性を示す身近な例を数多く紹介する。また、講義内容の理解を促すために、図や写真、動画などの視聴覚教材を多用し、教室内での実験やデモンストレーション、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも適宜実施する。

■ 到達目標

以下の4つの問いに対して、心理学の用語と具体例を用いて分かりやすく説明できる。

1. 人の知識や概念はどのような構造を持つか？（知識）
2. ヒトの思考にはどのような特徴があるか？（思考）
3. 言語にはどのような性質があり、どのように理解・産出されるのか？（言語）
4. ヒトは言語をどのように使用するか？（言語）

■ 授業計画

- 第1回 前期の復習と後期のオリエンテーション
- 第2回 思考・知識（1）：知識の構造／概念
- 第3回 思考・知識（2）：問題解決と思考／推論
- 第4回 思考・知識（3）：ヒューリスティクスと認知バイアス／心的イメージ
- 第5回 言語（1）：言語の特徴／非言語的コミュニケーション
- 第6回 言語（2）：言語の理解と産出
- 第7回 言語（3）：言語と思考／語用論
- 第8回 学習・認知心理学Ⅰ・Ⅱのまとめ

■ 評価方法

筆記試験：68%
毎回の小レポート：32%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義内で配布した資料を次回までに改めて読み通して復習しておくこと。参考図書の該当部分も併せて読むことを推奨。

■ 教科書

■ 参考図書

書 名：心理学（第5版）
著者名：鹿取 廣人，杉本 敏夫，鳥居 修晃
出版社：東京大学出版会

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

受講生の要望や関心に合わせて講義内容を多少変更することがあります。本講義の内容に関する質問、批判、意見などは歓迎します。小レポートの自由記述欄やメール等で伝えて頂いてもかまいません。